

## 株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月に開催
期末配当金基準日	毎年2月末日
中間配当金基準日	毎年8月31日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 (お問い合わせ先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話0120-094-777 (通話料無料)
公告方法	電子公告といたします。
公告掲載URL	<a href="http://www.poplar-cvs.co.jp/">http://www.poplar-cvs.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	7601

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いできませんので、ご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

配当金計算書について

配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受け取りになれる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

## 当社ホームページのご紹介

<http://www.poplar-cvs.co.jp/>

当社に関する様々な情報を公開しております。



平成23年5月発行

# 第36期 報告書

平成22年3月1日から平成23年2月28日まで





拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
 本年3月の東日本大震災により、被災されました株主の皆様には心よりお見舞い申し上げます。  
 本年1月に当社の連結子会社である株式会社キリン堂薬局において不適切な棚卸資産の計上が行われていることが判明し、株主の皆様をはじめ、関係各位にご迷惑とご心配をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。当社では、本件を真摯に受け止め、当社グループ全体で再発防止の徹底を図り、株主の皆様の信頼回復に努めてまいります。  
 株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

代表取締役社長 目黒 真司

Q1 当期の業績について教えてください。

A1 7月から8月の記録的な猛暑やたばこの大幅値上げに伴う9月の駆け込み需要による売上伸長はあったものの、3月から5月の天候不順の影響や10月以降のたばこの値上げの影響による禁煙者の増加やまとめ買いの反動で来店客数が大きく減少するなど、全体的には低調に推移しました。当社のチェーン全店売上高は90,725百万円（前連結会計年度比4.5%減）、営業総収入は57,671百万円（同0.8%増）、営業利益330百万円（同25.7%減）、経常利益364百万円（同

23.6%減）、また当社連結子会社の不適切な会計処理による過年度分の累計影響額100百万円を前期損益修正損として計上したことや、繰延税金資産633百万円の取り崩しを行ったことから当期純損失は652百万円（前連結会計年度：当期純利益150百万円）となりました。

Q2 当期の取り組み施策について教えてください。

A2 当社グループは新しい利便性を追求するとともに安全で品質の高い商品・

サービスの提供や接客向上の取り組みによる集客力の向上を目指してまいりました。

商品政策に関しましては、チキンナゲット「ポップナゲ」を新規導入し、カウンターFF商材の充実を図りました。また、パン・ドーナツブランド「ベーカリーストリート」やデザートブランド「プチ・パティシエ」を立ち上げ、PB商品の強化を実施いたしました。また、好調であるオリジナルハンバーガーブランド「Pバーガー」のアイテム強化にも取り組みました。米飯関連では、おむすびブランド「おむすび日和」の全面リニューアルに続き、当社の強みであるHOT弁当のブランド力を高めるため、パッケージデザインの統一や呼称を「ポップ弁」にするなど、全面的な見直しを行いました。

地域密着の施策としては、地場の特産品を使用した地域毎の商品開発・販売や、地域の要望に対応した青果の大幅強化策など、地域のお客様に愛される品揃えや店舗作りを実施してまいりました。

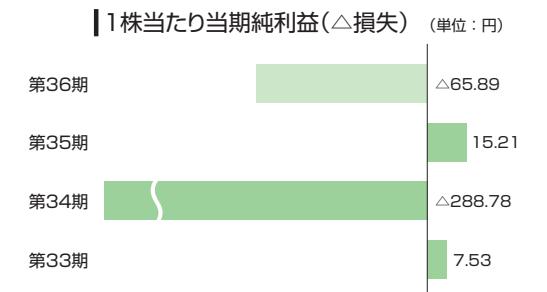
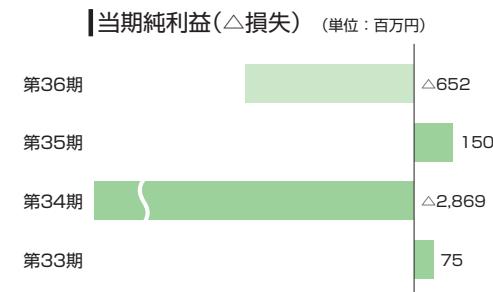
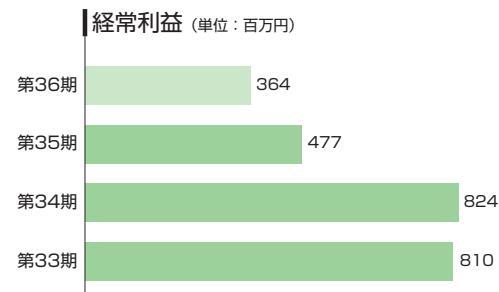
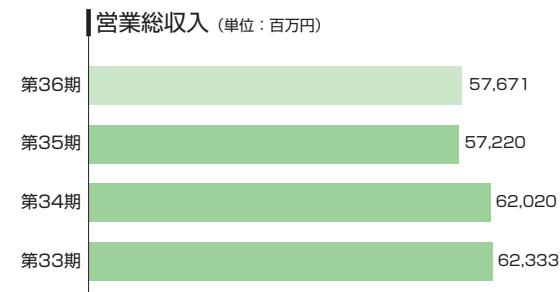
店舗開発面では、限定型商圈や小規模店舗でも経営を可能にする当社独自の「製販一貫体制」「売

上ロイヤリティ制度」による出店の自由度を活かし、自衛隊基地内や行政庁舎内、病院内店舗など特殊な商圈への出店を加速してまいりました。

Q3 今後の見通しについて教えてください。

A3 第37期の通期連結業績の見通しといたしましては、営業総収入は57,569百万円（当連結会計年度比0.2%減）、営業利益は499百万円（同51.2%増）、経常利益は517百万円（同41.9%増）、当期純損失は932百万円（当連結会計年度：当期純損失652百万円）を見込んでおります。

財務ハイライト



連結貸借対照表

科 目	(単位：百万円)	
	第36期 平成23年2月28日現在	第35期 平成22年2月28日現在
<b>【資産の部】</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	2,515	5,096
受取手形及び売掛金	182	211
商品及び製品	1,491	1,672
原材料及び貯蔵品	32	33
その他	1,461	2,074
貸倒引当金	△ 4	△ 5
<b>流動資産合計</b>	<b>5,678</b>	<b>9,082</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
<b>自社有形固定資産</b>		
建物及び構築物（純額）	2,412	2,533
土地	3,246	3,234
その他（純額）	470	405
<b>自社有形固定資産合計</b>	<b>6,129</b>	<b>6,172</b>
<b>貸与有形固定資産</b>		
建物及び構築物（純額）	1,413	1,578
土地	454	564
その他（純額）	156	219
<b>貸与有形固定資産合計</b>	<b>2,025</b>	<b>2,362</b>
<b>有形固定資産合計</b>	<b>8,154</b>	<b>8,535</b>
<b>無形固定資産</b>	144	138
<b>投資その他の資産</b>		
敷金及び保証金	3,426	3,759
その他	864	2,114
貸倒引当金	△ 150	△ 803
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>4,139</b>	<b>5,071</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>12,439</b>	<b>13,745</b>
<b>資産合計</b>	<b>18,117</b>	<b>22,828</b>

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

科 目	(単位：百万円)	
	第36期 平成23年2月28日現在	第35期 平成22年2月28日現在
<b>【負債の部】</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	2,774	3,959
加盟店買掛金	1,444	3,390
短期借入金	—	132
預り金	1,676	1,772
未払法人税等	127	112
賞与引当金	95	129
その他	1,182	1,679
<b>流動負債合計</b>	<b>7,300</b>	<b>11,175</b>
<b>固定負債</b>		
リース債務	244	115
退職給付引当金	251	234
長期預り金	2,133	2,301
その他	143	198
<b>固定負債合計</b>	<b>2,772</b>	<b>2,849</b>
<b>負債合計</b>	<b>10,073</b>	<b>14,025</b>
<b>【純資産の部】</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	2,410	2,410
資本剰余金	2,650	2,650
利益剰余金	3,042	3,794
自己株式	△ 92	△ 91
<b>株主資本合計</b>	<b>8,011</b>	<b>8,763</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	33	39
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>33</b>	<b>39</b>
<b>純資産合計</b>	<b>8,044</b>	<b>8,803</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>18,117</b>	<b>22,828</b>

point ① 売上高

7～8月は猛暑により好調に推移したものの、3～5月の天候不順や10月以降はたばこの値上げにより来店客数が減少したため前年比微増に終わりました。

point ② 営業利益

値入率の改善や業務の効率化を進めましたが、直営店の増加などの影響で前年を下回りました。

point ③ 当期純利益

繰延税金資産633百万円の取り崩しを行ったことにより、連結実績は△652百万円となりました。

point ④ キャッシュ・フロー

現金及び現金同等物の期末残高の減少の主な理由は、第35期末日が銀行休業日であったため当日支払予定の仕入債務を当期に支払ったことによるものです。

連結損益計算書

科 目	(単位：百万円)	
	第36期 平成22年3月1日から 平成23年2月28日まで	第35期 平成21年3月1日から 平成22年2月28日まで
売上高	52,931	52,125
営業収入	4,740	5,094
売上原価	41,436	41,305
営業総利益	16,235	15,915
販売費及び一般管理費	15,904	15,471
営業利益	330	444
営業外収益	63	76
営業外費用	29	43
経常利益	364	477
特別利益	140	104
特別損失	423	182
税金等調整前当期純利益	81	399
法人税、住民税及び事業税	103	92
法人税等調整額	631	156
当期純利益（△損失）	△ 652	150

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	(単位：百万円)	
	第36期 平成22年3月1日から 平成23年2月28日まで	第35期 平成21年3月1日から 平成22年2月28日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,251	△ 456
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 59	△ 640
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 266	△ 175
現金及び現金同等物の増減額（△減少）	△ 2,577	△ 1,273
現金及び現金同等物の期首残高	5,093	6,366
現金及び現金同等物の期末残高	2,515	5,093

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

貸借対照表(要約)

(単位：百万円)

科 目	第36期	第35期
	平成23年2月28日現在	平成22年2月28日現在
<b>【資産の部】</b>		
流動資産	5,118	8,332
固定資産	12,480	13,966
有形固定資産	7,953	8,263
無形固定資産	136	137
投資その他の資産	4,389	5,565
資産合計	17,598	22,299
<b>【負債の部】</b>		
流動負債	6,943	10,776
固定負債	2,728	2,818
負債合計	9,672	13,595
<b>【純資産の部】</b>		
株主資本	7,928	8,702
資本金	2,410	2,410
資本剰余金	2,649	2,649
利益剰余金	2,961	3,734
自己株式	△ 92	△ 91
評価・換算差額等	△ 2	2
その他有価証券評価差額金	△ 2	2
純資産合計	7,925	8,704
負債純資産合計	17,598	22,299

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書(要約)

(単位：百万円)

科 目	第36期	第35期
	平成22年3月 1 日から 平成23年2月28日まで	平成21年3月 1 日から 平成22年2月28日まで
売上高	51,171	50,319
営業収入	4,772	5,122
売上原価	40,205	40,092
営業総利益	15,738	15,349
販売費及び一般管理費	15,356	14,899
営業利益	381	449
営業外収益	68	80
営業外費用	113	87
経常利益	336	442
特別利益	112	93
特別損失	394	172
税引前当期純利益	54	363
法人税、住民税及び事業税	95	88
法人税等調整額	633	153
当期純利益(△損失)	△ 674	121

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

ポプラは社会の一員であることを強く認識し、事業活動を通じた地域社会への貢献と共存を積極的に推進していくための取り組みを実践しております。

鳥取市と「災害時における物資供給及び防災活動への協力に関する協定」を締結

ポプラは平成22年11月4日に鳥取市と「災害時における物資供給及び防災活動への協力に関する協定」を締結し、災害時に必要となる食料品、生活必需品などの緊急物資を供給していくことで合意しました。また、平常時においても、防災チラシの配布や防災訓練への参加を通じて、鳥取市が主催する防災啓発事業に協力してまいります。

ポプラでは鳥取市の他、兵庫県姫路市、広島県、岡山県、大阪府、鳥根県出雲市と同様の協定を締結しております。



災害時帰宅支援ステーションへの参加

ポプラでは各自治体等と「災害時における帰宅困難者支援に関する協定」を締結し、地震などの大規模災害で交通機関が途絶して自宅へ帰るのが困難になった帰宅困難者に対して、水道水、トイレ、道路情報の提供を行う災害時帰宅支援ステーションに参加しております。

協定締結先

石川県／熊本県／鳥取県／島根県／香川県／大分県／岡山県／広島県／佐賀県／福岡県／八都府市（埼玉県・東京都・千葉県・神奈川県・さいたま市・千葉市・川崎市・横浜市）／関西広域連携協議会（滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県・三重県・京都市・大阪市・堺市・神戸市）

ピックアップ

平成22年の大晦日から年明け2日にかけて、山陰地方を大雪が襲いました。大雪で車が立ち往生し、各地で大渋滞が発生しました。

国道9号線沿いにある弊社の配送センター周辺も大渋滞となり、たくさんの人が巻き込まれ、長い時間を車の中で過ごしていました。

渋滞の影響で、弊社も商品を配送できなくなっておりましたが、困っている人たちを見た社員の中から「届けられなくなったおにぎりを配れないか」という声が上がリ、約200台の車列に無償でおにぎりを配って歩きました。

この行動が全国紙等で報道され、たくさんの方々から励ましのお手紙やメールを頂戴しました。

商品を配送できなかったことで加盟店やお店を利用してくださるお客様にはご迷惑をおかけしましたが、この時のことを教訓に、当社は社会インフラとしての役割を常に意識しながら今後も事業に取り組んでまいります。

**レジ袋の規格変更**  
平成22年9月1日より順次導入

ECO

レジ袋1枚当りの重量をすべてのサイズ平均で4~5%削減しました。年間のレジ袋使用総重量（チェーン全体、当社使用量から算出）では約16tの削減となる予定です。



平成22年  
9月

**割り箸の規格変更**  
平成22年10月5日より順次導入

ECO

割り箸のサイズを長さ1cm、幅1mm短くして、一膳当りの木材使用料を約14%削減、割り箸の外装フィルムについても使用量を約28%削減しました。



割り箸 変更前（上）、変更後（下）

平成22年  
10月

**スイーツ** 10月12日  
**オリジナルデザートブランド**  
「プチ・パティシエ」の販売エリア拡大  
関西、中四国、九州地区で販売してきた「プチ・パティシエ」シリーズについて、「なめらか半熟プリン」など新メニューを投入し、充実した品揃えで、関東地区での販売を開始しました。



カスタードシュークリーム なめらか半熟プリン

10月19日  
**ベーカリーストリートブランドで**  
**ベーカリーオリジナルドーナツを発売**

オレンジを基調としたパッケージデザインのオリジナルドーナツ（7種類、ただし関東地区は5種類）を関東、関西、中四国、九州地区のポプラグループ店舗で発売しました。



オールドファッションドーナツ（チョコ） モッチリング（きなこ）

11月9日  
**オリジナルおむすびブランド**  
**「おむすび日和」をリニューアル**

おむすび

「おむすび日和」のパッケージデザイン、ロゴデザインを一新し、手巻きおむすびは素材感にこだわって具材を見直し、直巻おむすびは海賊おむすび、山賊おむすびの定番商品に加えて、十穀米を使用したおむすびなど新たなメニューを導入しました。



平成22年  
11月



手巻きおむすび シーチンマヨネーズ 手巻きおむすび 紅鮭



鶏五目ご飯 焼おにぎり おかか

平成22年  
12月

11月30日  
**HOT弁当をリニューアル**

お弁当

お買上げ時にお店で炊飯したご飯を詰めるスタイルのHOT弁当について、「ポップ弁」という愛称の導入とともに容器のベースカラーを統一し、弁当のサイズ別に柄の色を変えることで、選びやすいデザインに変更しました。新たな取り組みとして、「HOT親子丼」や「HOT麻婆春雨丼」といった丼物を導入しました。



HOT親子丼



唐揚弁当

12月3日  
**ちょっと贅沢なおむすびを発売**

おむすび

「おむすび日和」シリーズから、ちょっと贅沢なおむすびを発売しました。旨味のある三陸産の鮭いくらを醤油漬にした「いくら」（税込み155円）や良質な博多産明太子をさっと炙って半生に仕上げた「炙り明太子」（税込み150円）など、具材の品質を向上させました。



会社概要

(平成23年2月28日現在)

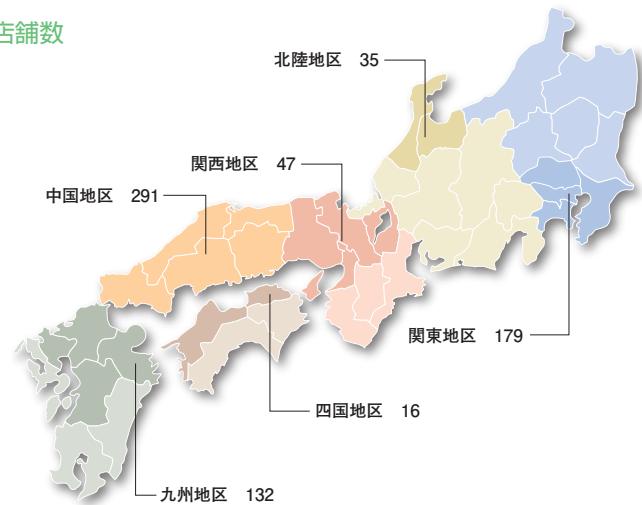
社名 株式会社ポプラ  
 本社 〒731-3395  
 広島市安佐北区安佐町大字久地665-1  
 資本金 24億1,013万7,725円  
 設立 昭和51年(1976年)4月20日  
 チェーン店舗数 700店舗  
 従業員数 625名  
 事業内容 当社は、フランチャイズチェーンシステムによるコンビニエンスストアの経営を主要業務として営んでおります。

主な子会社

会社名	資本金(千円)	出資比率(%)	主要な事業内容
大黒屋食品株式会社	10,000	100	食品製造卸事業
株式会社キリン堂薬局	12,000	100	ドラッグストア事業
ポプラ保険サービス有限会社	3,000	(注)100(73.3)	保険代理店事業
株式会社ポプラ不動産企画	1,000	100	不動産管理事業

(注) 出資比率には、間接所有分( )を含めて記載しております。なお、その内訳は、当社26.6%、大黒屋食品株式会社36.7%、株式会社キリン堂薬局36.7%となっております。

店舗数



当期(下期)の新規開設店舗

- 藤沢宮原店(神奈川県)
- 大分元町店(大分県)
- 小倉記念病院店(福岡県)
- 高梁木野山店(岡山県)
- 新生銀行本店(東京都)
- NBF日比谷ビル店(東京都)
- コニカミノルタショップ八王子店(東京都)
- コニカミノルタショップ日野店(東京都)
- 松江合庁前店(島根県)

株式の状況

(平成23年2月28日現在)

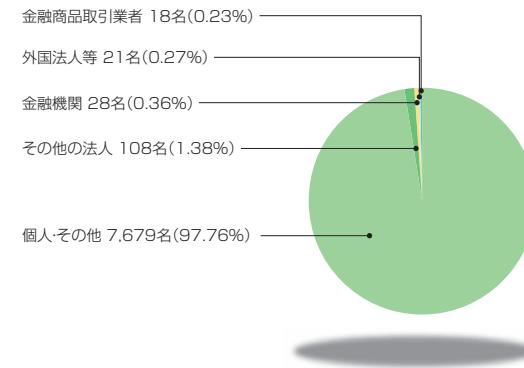
発行可能株式総数 36,160,072株  
 発行済株式の総数 10,040,018株  
 株主数 7,854名  
 第36期中間期末に比べ、291名増加しました。

大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
目黒 俊治	2,814,944 株	28.41 %
ポプラ協栄会	1,429,409	14.42
ポプラ社員持株会	322,531	3.25
株式会社広島銀行	212,960	2.14
日本生命保険相互会社	207,460	2.09
株式会社もみじ銀行	172,934	1.74
東京海上日動火災保険株式会社	159,720	1.61
三菱UFJ信託銀行株式会社	133,100	1.34
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(リソな銀行再信託分・株式会社もみじ銀行退職給付信託口)	125,800	1.26
ひろぎんリース株式会社	106,480	1.07

(注) 1. 当社は自己株式133,955株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
 2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別株主分布状況



所有者別株式分布状況

